

みずほCustomer Desk Report 2021/12/16 号 (As of 2021/12/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.80
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	113.75	1.1257	128.13	1.3233	0.7105
SYD-NY High	114.28	1.1299	128.81	1.3282	0.7177
SYD-NY Low	113.63	1.1221	128.04	1.3172	0.7093
NY 5:00 PM	114.05	1.1296	128.81	1.3263	0.7173
NY DOW	35,927.43	383.25	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	15,565.58	327.94	日本10年債	0.0400	▲1.00bp
S&P	4,709.85	75.76	米国2年債	0.6641	0.83bp
日経平均	28,459.72	27.08	米国5年債	1.2443	1.14bp
TOPIX	1,984.10	10.29	米国10年債	1.4574	1.71bp
シカゴ日経先物	28,925.00	570.00	独10年債	-0.3660	0.00bp
ロンドンFT	7,170.75	▲47.89	英10年債	0.7360	1.45bp
DAX	15,476.35	22.79	豪10年債	1.5880	4.20bp
ハンセン指数	23,420.76	▲215.19	USDJPY 1M Vol	6.23	▲0.38%
上海総合	3,647.63	▲13.90	USDJPY 3M Vol	6.53	▲0.18%
NY金	1,764.50	▲7.80	USDJPY 6M Vol	6.73	▲0.13%
WTI	70.87	0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.64	Yen Call Over
CRB指数	223.819	▲0.51	EURJPY 3M Vol	6.95	▲0.18%
ドルインデックス	96.51	▲0.06	EURJPY 6M Vol	7.39	▲0.08%

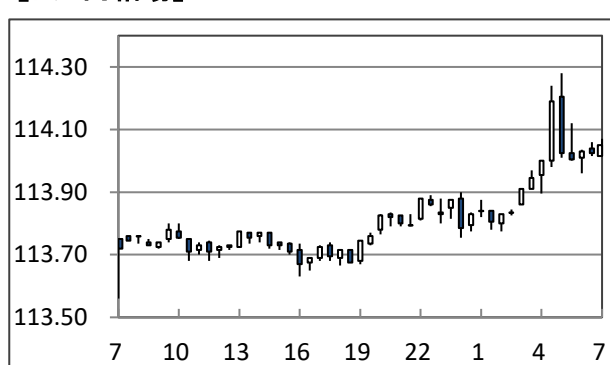
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月15日	11:00	中 小売売上高/鉱工業生産(前年比)	11月 3.9%/3.8%	4.7%/3.7%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.7%/5.1%	0.4%/4.8%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	12月 31.9	25.0
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	11月 0.3%	0.8%
12月16日	04:00	米 FOMC政策金利	- 0.00%-0.25%	0.00%-0.25%

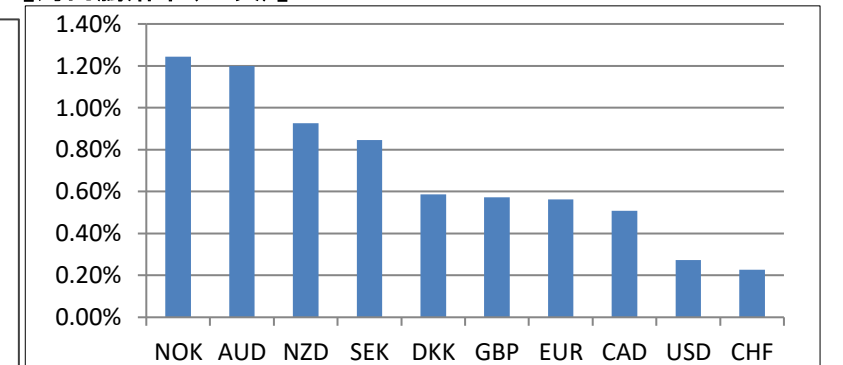
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月16日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	11月 200.0k/5.0%	-46.3k/5.2%
	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 56.9/51.0/51.1	57.4/52.7/52.2
	21:45	欧 ECB主要政策金利	- 0.0%	0.0%
	21:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	- -0.5%	-0.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 200k	184k
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	11月 1567k/1661k	1520k/1653k
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	11月 0.6%	1.6%
	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 58.5/58.8/-	58.3/58.0/57.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.70-114.50	1.1250-1.1330	128.30-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はやや上昇する展開。FOMC前までは113円台後半で小動き。そのFOMCでテーパリングの早期縮小、利上げの前倒しが示唆されると、米金利が上昇し一時114.28をつけた。来年の利上げ回数をはじめややタカ派寄りの内容は見られたものの、織込み済みの面が多かったこともあり、その後はドル売りに傾倒。株式市場の反発によるクロス円売りのサポートがありながら、ドル円もじりじりと下落し114.05でクローズした。本日のドル円は底堅い値動きを予想する。年末に向けてドル買いの材料が出尽くした感がある中、これ以上の上昇はなかなか想定しづらい。ただ一方で、FOMCに大きなサプライズがなかったことによる安心感からか、株式市場は反発を見せており、そのことを背景としたクロス円売りがドル円のサポートとなるだろう。本日もBOJやECBが予定されており、各国中銀の金融政策には注目したい。

東京	東京時間のドル円は113.75レベルでスタート。仲値を前に113.80まで小幅に上昇するも、仲値決定後に勢いを失い113.68まで下落。その後は海外時間にFOMCを控えて膠着した状態が続き、113.71レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.71レベルでオープン。小動きの中、米長期金利に連れて若干上昇。113.88まで上昇しNYに渡った。ポンドドルは、1.3243レベルでオープン。朝方発表の英11月CPIが予想を上回り、明日の英中銀決定への思惑から1.3282まで買われる。結局1.3258レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はFOMCを控える中、113円台後半の狭いレンジで推移。早朝にかけて米長期金利の上昇につれて113.88までじりじりと買われ、そのまま113.88レベルでNYオープン。朝方は米11月小売売上が予想を下回り、一時的にドル売りで反応するも、イベント前の様子見ムードが強く、113.80近辺までの下落に留まり、その後は再び小動き。午後2時発表のFOMCではテーパリングのペースを月300億ドルまで引き上げられテーパリング完了時期の想定が来年の6月から3月に前倒しされたほか、来年の政策金利見通しが予想2回に対して3回となっていたことから、効派色の強い内容との見られドル買いが先行し、一時114.28まで上昇。しかし、FOMCメンバーの経済見通しやパウエルFRB議長の記者会見を通して来年以降のインフレ率は低下すると見方が伝わるほか、その他の効派なサプライズが見当たらなかったことが好感されたためか、米株がプラスに転じ、米金利の上昇も一服し、ドルはリスク志向の売りに転じ、113.96まで反落。終盤は114円ちょうど付近で小動きとなり、114.05レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.12台後半でスタートし、イベント前の持ち高調整が中心で方向感欠く展開となり、1.1264レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、1.1260近辺での小動きが続くが、FOMC直後はドル買いで反応したことから1.1221まで下落。しかし、その後はリスクオンのドル売り優勢となり、1.1299まで反発。終盤は小幅反落し、結局、1.1296レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・大谷